

「人生 100 年時代」に必要な備えとは？  
授業展開案（50 分）

 公益財団法人 生命保険文化センター

## 1. 学習のねらい

- ・少子高齢社会において、日常生活を送るうえで意識すべきことを考える
- ・リスクから自分の身を守る手段として、自助・共助・公助について理解する
- ・「自助」として、自分で備える手段の預貯金と民間保険の特徴を理解する

## 2. 授業の概要（50分）

概要	学習内容とねらい
導入 (2分)	今日のねらい ★授業の目的を確認する
展開① (7分)	1. 少子高齢化について考えよう ★少子高齢化の現状と起こりうるリスクについて学ぶ
展開② (10分)	2. リスクについて考えよう ★リスクが起きてしまった事例について具体的にイメージし、「何に」「いくら」かかるか考えることにより、必要なお金を準備する手段について学ぶ ★リスクから自分の身を守る手段として、自助・共助・公助について理解する
展開③ (6分)	3. 社会保障制度って何だろう? ★社会保障制度（社会保険）について学ぶ
展開④ (20分)	4. 「預貯金」と「民間保険」の違いって何だろう? ★自助の代表的な手段である「預貯金」と「民間保険」について、そのしくみと特徴を理解する ★データを用いて「生命保険」の特徴や種類について学ぶ
まとめ (5分)	5. まとめ ★授業のふりかえりをする

## 3. 授業形式

- ・パワーポイントと生徒用ワークシートを用いた講義形式

## 4. 準備物

- ・生徒用ワークシート（WS）、パソコン（パワーポイントが使える環境のもの）、プロジェクター、スクリーン、筆記用具（生徒）

授業時間が50分以上の場合や、授業展開案（50分）の内容を補足したい場合は・・・

50分授業セット「人生100年時代」に必要な備えとは？ ※本教材



### 中学生作文コンクール入賞作品

全国の中学生を対象に、生命保険の役割などについて理解を深めていただくことを目的とした作文コンクールです。

<https://www.jili.or.jp/school/concourse/prize.html>



### 生命保険を知る・学ぶ

生命保険に関する知っておきたい基礎知識や、生命保険・年金・医療・介護・税金に関するQ&A、出版物などを通じて、最新かつ適切な情報をお届けします。

[https://www.jili.or.jp/knows\\_learns/](https://www.jili.or.jp/knows_learns/)



### ひと目でわかる生活設計情報

生活設計をたてるために必要な基本的な考え方やヒント・参考情報を分かりやすくまとめています。

<https://www.jili.or.jp/lifeplan/>



## 5. 授業展開（詳細）

時間	内容	備考	スライド															
導入 2分	<b>今日のねらい</b> <b>○今日のねらい【WS】</b> ★授業の目的を確認する		<b>今日のねらい</b> ①少子高齢社会において、日常生活を送るうえで意識すべきことを考える。 ②リスクから自分の身を守る手段として、自助・共助・公助について理解する。 ③「自助」として、自分で備える手段の預貯金と民間保険の特徴を理解する。															
展開① 7分	<b>1. 少子高齢化について考えよう</b> <b>○考えてみよう</b> ★本教材のタイトルにある「人生100年時代」をキーワードに、日本の高齢化の現状について認識させる	(Q) 今、日本に「100歳以上」の人が何人いるか知ってる？	<b>考えてみよう</b> 今、日本に「100歳以上」の人が何人いるか知っていますか? 1963年(昭和38年)には「153人」だったが… 答えは、「約8万人」 「80,450人」のうち、全体会約88%(70,975人)は女性															
	<b>○平均寿命</b> ★日本の平均寿命を紹介する	<p><b>【参考データ】</b>  100歳以上の高齢者の数は、老人福祉法が制定された1963(昭和38)年には全国で153人だったが、1981(昭和56)年に1,000人、1998(平成10)年に10,000人、2012(平成24)年には50,000人を超えた。  &lt;厚生労働省「百歳の高齢者へのお祝い状及び記念品の贈呈について」(2020年9月1日現在の住民基本台帳による都道府県・指定都市・中核市からの報告数&gt;</p>	<p>平均寿命とは… 0歳の子どもの平均で何歳まで生きられるかを示す指標</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>性別</th> <th>年齢</th> <th>平均寿命</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男</td> <td>出生</td> <td>76.9歳</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td>出生</td> <td>82.5歳</td> </tr> <tr> <td>男</td> <td>80歳</td> <td>81.0歳</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td>80歳</td> <td>87.5歳</td> </tr> </tbody> </table>	性別	年齢	平均寿命	男	出生	76.9歳	女	出生	82.5歳	男	80歳	81.0歳	女	80歳	87.5歳
性別	年齢	平均寿命																
男	出生	76.9歳																
女	出生	82.5歳																
男	80歳	81.0歳																
女	80歳	87.5歳																
	<b>○平均寿命と健康寿命</b> ★平均寿命と健康寿命の差を紹介し、この期間に病気にかかったり、介護が必要になる可能性があることをイメージさせる	<p><b>【参考データ】</b>  主要疾病の平均入院日数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・脳血管疾患：78.2日</li> <li>・結核：54.1日</li> <li>・骨折：37.2日</li> <li>・高血圧性疾患：33.7日</li> <li>・糖尿病：33.3日</li> <li>・肺炎：27.3日</li> <li>・肝疾患：22.9日</li> <li>・新疾患：19.3日</li> <li>・悪性新生物：17.1日</li> </ul> <厚生労働省「患者調査」(平成29年)>	<p>平均寿命と健康寿命 「平均寿命」：0歳児が平均して何歳まで生きるかを示すもの 「健康寿命」：健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年齢</th> <th>平均寿命</th> <th>健康寿命</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>60歳</td> <td>79.1歳</td> <td>74.8歳</td> </tr> <tr> <td>70歳</td> <td>82.1歳</td> <td>77.4歳</td> </tr> <tr> <td>80歳</td> <td>87.4歳</td> <td>82.3歳</td> </tr> </tbody> </table>	年齢	平均寿命	健康寿命	60歳	79.1歳	74.8歳	70歳	82.1歳	77.4歳	80歳	87.4歳	82.3歳			
年齢	平均寿命	健康寿命																
60歳	79.1歳	74.8歳																
70歳	82.1歳	77.4歳																
80歳	87.4歳	82.3歳																
	<b>○日本の少子高齢化の現状と推計</b> ★グラフで少子高齢化の状況、今後の推計を認識させる	<p><b>【参考データ】</b>  年代別人口に占める要支援・要介護認定者の割合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・40~64歳：0.4%</li> <li>・60~69歳：2.9%</li> <li>・70~74歳：5.7%</li> <li>・75~79歳：12.8%</li> <li>・80~84歳：27.8%</li> <li>・85歳以上：60.0%</li> </ul> <生命保険文化センターが厚生労働省「介護給付費等実態統計月報」、総務省「人口推計月報」の各2019年7月データをもとに作成>	<p>日本の少子高齢化の現状と推計 人口構成比(%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年齢層</th> <th>2019年</th> <th>2050年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>少子化</td> <td>14.2%</td> <td>21.0%</td> </tr> <tr> <td>高齢化</td> <td>26.7%</td> <td>39.4%</td> </tr> </tbody> </table>	年齢層	2019年	2050年	少子化	14.2%	21.0%	高齢化	26.7%	39.4%						
年齢層	2019年	2050年																
少子化	14.2%	21.0%																
高齢化	26.7%	39.4%																
	<b>○人生におけるリスク</b> ★病気や介護等といった高齢化に伴うリスクだけではなく、人生において様々なリスクがあることを伝える		<b>人生におけるリスク</b> 人生には色々なリスクがあるよね。どんなリスクがあるか見てみよう。															

展開② 10分	<h2>2. リスクについて考えよう</h2> <h3>○リスクとは何か</h3> <p>★リスクとは何か、普段の生活の中でどんなリスクがあるかを想像させ、発生すると経済的な損失を被ることを認識させる</p>	<p><b>【用語】</b> リスク：予想できない事態により経済的損失や不利益を被る可能性のこと</p>	
	<h3>○事例「足の骨折で入院したら」</h3> <p>★イラストを使ったアニメーションを通じてリスクが起きてしまった事例について具体的にイメージさせる</p>		
	<h3>○考えてみよう</h3> <p>★足を骨折した場合に、どんなことにお金がかかるか考えさせる</p> <h3>○①必要となるお金（事例）</h3> <p>★必要となる医療費等の金額を提示し、リスクが起きてしまったら一定の金額が必要になることを認識させる</p> <h3>○②入ってくるお金（事例）</h3> <p>★入ってくるお金として「公的医療保険」について説明する</p> <h3>○③自分で準備する必要があるお金（事例）</h3> <p>★事例を通じて、不足する金額を自分で準備して補完する必要があることを理解する</p> <h3>○月額の給与について</h3> <p>★上記③「自分で準備する必要があるお金」の「約20万円」は、20歳代前半の月収に相当する大きな金額であることを認識させる</p>	<p>・足の骨折で22日間入院した事例</p>	<p><b>考えてみよう</b> 骨折をしたら… どんなことにお金がかかるか考えてみよう  ①必要となるお金 ● 入院、手術、薬における費用 かかる医療費 約178万円 その他 約8万円 合計 約186万円  ※その他の費用として、食費やお酒代などもかかることがあります。  ②入ってくるお金 ● 公的医療保険（公的医療保険） 約166万円 合計 約166万円  ケガや病気で入院したときには、国などから受けられる公的医療保険として、「<b>公的医療保険</b>」があります。</p> <p>③自分で準備する必要があるお金（事例） 「必要なお金」から「入ってくるお金」を差し引いた金額が自分で「準備する必要があるお金」。 ①必要となるお金 ● 月額の給与 約21.5万円 ● 月々の生活費 約18.9万円 合計 約40.4万円 ②入ってくるお金 ● 公的医療保険（公的医療保険） 紦166万円 合計 紦166万円 = ③自分で準備する必要があるお金 約<b>20万円</b></p> <p>月額の給与について ● 男性正社員 約<b>21.5万円</b>・非正社員 約<b>18.9万円</b> ○ 女性正社員 約<b>21.1万円</b>・非正社員 約<b>17.7万円</b></p>

	<p>○自分の身を守るために【WS】穴埋め</p> <p>★★★自分の身を守るための考え方として、「自助・共助・公助」があることを伝える</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「公助」の「国など」という記載について、国以外に都道府県や市町村といった地方自治体が含まれる</li> </ul>	
展開③ 6分	<h3>3. 社会保障制度って何だろう？</h3> <p>○「社会保障制度」とは【WS】</p> <p>★社会保障制度が4つの柱からなることを説明する</p> <p>○「社会保険」とは</p> <p>★社会保険の内容を簡単に説明する</p> <p>○社会保障給付額の推移</p> <p>★社会保障制度の給付額が年々高額になっていくことを確認する</p> <p>★★★少子高齢化が進む中で社会保障の給付額が増えていく実態を確認し、持続可能な社会保障制度のあり方について考えていくことが大切であることを伝える</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「共助」は労働者等(加入者)から集める「社会保険料」、「公助」は国民から集める「租税」で運営されている違いについて触れる。 ※「共助」は一部租税でも賄われている。</li> <li>給付額の多くは「社会保険」に係る費用であることに触れる</li> </ul>	
展開④ 20分	<h3>4. 「預貯金」と「民間保険」の違いって何だろう？</h3> <p>○自分の身を守るために（再掲）</p> <p>★自助の代表的なものに「預貯金」と「民間保険」があることを確認する</p> <p>4-①. 「預貯金」と「民間保険」の違いは・・・</p> <p>○「預貯金」と「民間保険」の違い①</p> <p>★預貯金と民間保険のしくみの違いを理解する</p> <p>○「預貯金」と「民間保険」の違い②</p> <p>【WS】穴埋め</p> <p>★預貯金と民間保険の特徴を理解する</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>民間保険とは、保険会社に保険料を支払うことで、リスクが起きたときに保険金を受け取れる契約である</li> <li>ヨコ軸に時間をとり、タテ軸に万一の時に使える金額を示している</li> </ul>	

## ○「預貯金」と「民間保険」の違い③

### 【WS】自由記述

★預貯金と民間保険それぞれのメリット、デメリットを理解する

★★★預貯金と保険どちらが良いかではなく、  
それぞれの特徴を押さえて使い分けることが  
大事であることを認識させる



## 4-②. 保険のしくみ

### ○保険のしくみ①②

★保険のしくみについて単純化した例で説明する

#### <ストーリー・スクリプト>

- 100人の部員がいるサッカーチームがある
  - 毎年5人の部員が骨折すると仮定する
  - 対策をしてもケガは減らない
  - 治療には費用がひとり1万円かかる
- (次スライド)
- そこである部員が思いついた「全員であらかじめ治療にかかる費用を準備しておけばよいのでは」
  - 治療に係る費用はチーム全体で1万円×5人=5万円
  - 5万円を100人で準備すればよいので、5万円÷100人=ひとり年間500円
  - 骨折した生徒は1万円を受け取り、治療費にあてることができる



### ○保険のしくみ③

★単純化した例を、一つの図で示し、理解を深める

- 全員が少しの負担でリスクに備えることができると補足する



## 4-③. 生命保険って何？

### ○生命保険と損害保険

★民間保険には、生命保険と損害保険があり、保険の対象が異なることを説明する

### ○生命保険の種類 【WS】穴埋め

★生命保険はリスクに応じてさまざまな種類があることを説明する



	<p><b>【クイズ4問】</b></p> <p>★クイズ形式により、データを用いて「生命保険」の特徴や種類について学ぶ</p> <p>○どのくらいの家族が契約しているの？</p> <p>○何件契約しているの？</p> <p>○いくら払っているの？</p> <p>○生命保険会社全体でいくら支払われているの？</p>	<div style="border: 1px solid #ccc; padding: 10px;"> <p>どのくらいの家族が契約しているの？</p> <p>【問題】 国内で「生命保険」を契約している家族の割合は約何%？</p> <p>A.約50% B.約70% C.約90%</p> <p>【答え】 平均88.7% ⇒ C.約90%</p> </div> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 10px;"> <p>何件契約しているの？</p> <p>【問題】 家族で契約している生命保険の件数は平均で何件？</p> <p>A.約1件 B.約4件 C.約6件</p> <p>【答え】 平均3.9件 ⇒ B.約4件</p> </div> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 10px;"> <p>いくら払っているの？</p> <p>【問題】 家族が1年間で保険会社に支払っているお金（保険料）はいくら？</p> <p>A.約20万円 B.約40万円 C.約60万円</p> <p>【答え】 平均38.2万円(年額) (平均約3.2万円) ⇒ B.約40万円</p> </div> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 10px;"> <p>生命保険会社全体でいくら支払われているの？</p> <p>【問題】 1年間で国内の保険会社から契約者に支払われるお金（保険金等）はいくら？</p> <p>A.約3,000億円 B.約3兆円 C.約30兆円</p> <p>【答え】 約28.8兆円 ⇒ C.約30兆円</p> </div>
まとめ 5分	<h2>5. まとめ</h2> <p>○まとめ【WS】</p> <p>★★★学んだ内容のポイントをふりかえる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①少子高齢社会で生きていくためにはリスクに気づくことが大切</li> <li>②リスクから自分の身を守る手段として共助・公助といった社会保障制度だけでなく、預貯金や民間保険といった自助もある</li> <li>③社会保障制度で不足する部分を、自助である預貯金や民間保険を利用して準備することが大切</li> </ul> <p>○最後に【WS】自由記述</p> <p>★★★自分から情報を集めようとする姿勢が大切であることを伝える</p> <p>★今日学んだことや気づいたことについて書いてみる</p>	<div style="border: 1px solid #ccc; padding: 10px;"> <p>まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①少子高齢社会で生きていくためにはリスクに気づくことが大切。</li> <li>②リスクから自分の身を守る手段として共助・公助といった社会保障制度だけでなく、預貯金や民間保険といった自助もある。</li> <li>③社会保障制度で不足する部分を、自助である預貯金や民間保険を利用して準備することが大切。</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 10px;"> <p>最後に…</p> <p>リスクについて考えることは、自分や家族の「人生」について考えることにつながります。 自分の生活や将来に心を持つ抜け、自分から情報を集めようとする姿勢が大切です。</p> </div>

## 【参考スライド】

「1. 少子高齢化について考えよう」にて利用

### 【参考】100歳以上の高齢者の数



### 【参考】主要疾病の平均入院日数



### 【参考】年代別人口に占める要支援・要介護認定者の割合

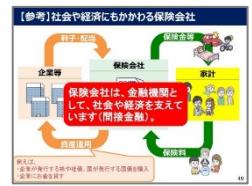


「4. 「預貯金」と「民間保険」の違いって何だろう？」にて利用

### 【参考】社会や経済にもかかわる保険会社

★金融機関としての保険会社について理解する

・保険会社は金融機関の1つであり、投資家として的一面も持っている



#### 【用語】

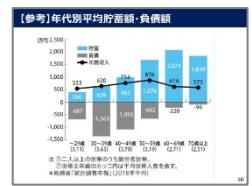
- 直接金融：株式や債券の発行などにより企業等が投資家（資金の出し手）から直接資金を集めること
- 間接金融：金融機関から資金を集めること

#### 【参考データ】

日本の生命保険会社の数…42社  
(2020年3月末時点)  
<一般社団法人 生命保険協会「生命保険の動向」(2020年版)>

### 【参考】年代別平均貯蓄額・負債額

★自助の手段である「預貯金」について年代別平均額を確認する



## □監修

大藪 千穂（岐阜大学教育学部 教授）

□編集協力（50音順）（所属は2021年3月時点）

伊藤 郷（渋谷区立上原中学校）

白井 裕輔（東京都立小石川中等教育学校）

山下 孝之（千代田区立九段中等教育学校）

## 6. 本教材における中学校社会学習指導要領との対応

### 2017（平成29）年3月告示 中学校社会学習指導要領「社会」（公民的分野）

#### A 私たちと現代社会

##### （1）私たちが生きる現代社会と文化の特色

ア 次のような知識を身に付けること。

（ア）現代日本の特色として少子高齢化、情報化、グローバル化などが見られることについて理解すること。

##### 【学習指導要領解説 社会編】

・・・現代日本の特色として少子高齢化、情報化、グローバル化などが見られることについて理解することとは、以下のように捉えることができる。少子高齢化については、近年の少子化の進行と平均寿命の伸長によって、我が国の人団構造が変化し、世界で類を見ない少子高齢社会を迎えていたことや、少子化が一層進み人口減少社会となっていることを理解できるようにすることを意味している。・・・また、医療や年金など社会保障費の財政負担が増大し、財政の状況が悪化していることを理解できるようにすることなどが考えられる。

##### （2）現代社会を捉える枠組み

#### B 私たちと経済

##### （1）市場の働きと経済

##### （2）国民の生活と政府の役割

ア 次のような知識を身に付けること。

（ア）社会資本の整備、公害の防止など環境の保全、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、消費者の保護について、それらの意義を理解すること。

##### 【学習指導要領解説 社会編】

少子高齢社会における社会保障の充実・安定化・・・の意義を理解することについては、日本国憲法第25条の精神に基づく社会保障制度の基本的な内容の理解を基に、その充実・安定化を図っていく必要があることを理解できるようにするとともに、財政の現状や少子高齢社会など現代社会の特色などを踏まえながら、受益と負担の均衡のとれた持続可能な社会保障制度の構築など、これから福祉社会の目指す方向について理解できるようにすることを意味している。その際、貯蓄や民間の保険などにも触れ、社会保障の充実・安定化のためには、自助、共助及び公助が最も適切に組み合わされるよう留意することが求められていることについても理解できるようにすることが大切である。

#### C 私たちと政治

##### （1）人間の尊重と日本国憲法の基本的原則 （2）民主政治と政治参加

#### D 私たちと国際社会の諸課題

##### （1）世界平和と人類の福祉の増大 （2）よりよい社会を目指して